

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

		整理番号	508
事業名	環境美化補助員	予算科目	会計 一般会計・1
担当部課名	市民生活部 生活環境課		款 衛生費・4款
電話	0799 - 43 - 5024		項 保健衛生費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目 環境美化対策費・6目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_	
	まちづくりの目標	子どもを産みたい_育てたいまち【子育て】	
	施策目標	ゴミのない清潔感あふれる安らぎの住環境をつくる	
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託
			負担金補助

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	目的	対象(誰を・どのような状況の人に) 市民(対象人数:平成22年3月末現在)		対象人数(人) 52,012	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 団体・個人又は南あわじ市各部署で管理できない花壇等の適正管理による環境美化の推進 不法投棄の監視・パトロールによる環境保全 小動物及びイノシシ・シカの死骸回収並びに不法投棄廃棄物の回収による環境保全			
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) シルバー人材センターに業務委託した花壇等の管理 不法投棄の監視・パトロールの実施 不法投棄廃棄物の回収業務 その他 ・狂犬病予防接種の広報業務 ・全島一斉清掃のごみ袋配布 ・犬、猫及び小動物及びイノシシ・シカの死骸処理			
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 嘱託職員の定年退職に伴い、平成23年度から1年間の臨時職員として再雇用する。			
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営 <input type="checkbox"/> 民間・その他 ()			
	事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし			
	合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 嘱託職員として旧西淡町から引き継ぐ。			

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	有効勤務日数					指標単位
							日
	指標説明 (指標算出 方法等)	嘱託職員として月額給与として雇用していたが、臨時職員としての再雇用(1年間)については、時間給として雇用する。					
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	目標値	230	230	231	230	120	
	実績値		92	100	60	120	
	達成度(%)	-	40.0	43.3	26.1	100.0	
目標値設定 の考え方	月額給与としていたが、必要雇用時間の時間給としたことによる目標設定を採用した。						
資源配分 (インプット)		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
	直接事業費 (千円)	3,684	4,098	3,888	3,878	2,451	
	賃金(環境美化臨時職員)	3,257	3,665	3,406	3,406	1,968	
	共済費(臨時職員社会保険料)			424	427	457	
	共済費(臨時職員労災保険料)			58	45	26	
	共済費(臨時職員共済組合)	427	433				
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	3,684	4,098	3,888	3,878	2,451	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4	
	事業量1(事業に要した日数)						
	事業量2(事業に要した人数)						
	年間経費([A]+[B])	3,684	4,098	3,888	3,878	2,451	
'目的'対象人数1人当り経費 (円)	70.8	78.8	74.8	74.6	47.1		
経費に関する 補足説明	平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
達成度	目標達成度	%	-	40.0	43.3	26.1	100.0
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 業務見直しの必要性に基づき達成度を計上した。業務見直しにより、直営花壇の削減と需要が増加する環境公害対策分野の拡充を目標とする。						自己評価 (5点評価) 3
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 臨時職員の雇用と花壇の管理業務委託の関係について、適正化できたので問題点・課題は解消できたと考える。また、小動物等の死骸回収が増加しており、それに対する人員が不足がちになっている。						自己評価 (5点評価) 2
	事業単価	円	70.8	78.8	74.8	74.6	47.1
効率性	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 緊急性・必要性に対応できるように業務内容を精査する必要がある。						自己評価 (5点評価) 3
	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
必要性	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 緊急を要する現場対応等、必要な業務がかなりあるので、今後の常務に影響の無いように対処する。						自己評価 (5点評価) 2
	総合評価	自己評価をふまえた現状分析 少なくとも平成22年度当初から、業務内容を把握すると共に業務管理を改善している。しかし、業務内容が多岐に渡っているため、再雇用の必要がある。					評価グラフ

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	定年退職により雇用形態を見直す。	同左。
(現状維持以外の改善方法)	1年を期限として、新たに臨時雇用契約を締結する。 必要な業務を精査し、委託が必要な業務に対しては、その業務毎に委託する。	同左。
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面 臨時職員の業務を精査し、業務委託については、必要なときに必要な業務を委託することによって経費の削減と業務の効率化が見込まれる。	効果(アウトカム)面 再度、検討を要する。
	コスト面 月給から時給に変更による削減が可能となった。	コスト面 再度、検討を要する。
(現状維持の場合も記入)	仮に事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 花壇の管理については、影響の無いように平成22年度で整理する。ただし、狂犬病予防接種、犬・猫等の死骸処理、一斉清掃、簡単な不法投棄やボランティアによる清掃活動のゴミの回収等、必要な業務がある場合は、1年を期限として新たに臨時雇用契約をする。	